sato

セルフメディケーションをサポートします
HEALTHCARE INNOVATION

2013年5月 記載要領変更に伴う改訂

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

外用痔疾用薬

ジーフォーL

- プレドニゾロン酢酸エステルがはれや出血を抑え、塩酸リドカインが痛み・かゆみを抑えます。
- ジフェンヒドラミン配合で、痔に伴うかゆみを抑えます。
- 1日1～2回で効果をあらわします

⚠ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は使用しないでください
   （1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
   （2）患部が化膿している人。
2. 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
   抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（かぜ薬、鎮咳去痰薬、鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
3. 使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
   （眠気等があらわれることがあります。）
4. 授乳中の人は本剤を使用しないか、本剤を使用する場合は授乳を避けてください
5. 長期連用しないでください

相 談 す る こ と

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
   （1）医師の治療を受けている人。
   （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
   （3）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
   （4）次の症状のある人。
   排尿困難
   （5）次の診断を受けた人。
   緑内障



2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

関係部位	症　　状
皮　　膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	刺激感、化膿、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症　　状
ショック（アナフィラキシー）	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 使用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
   口のかわき、眠気
4. 10日間位使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

〔効　能〕

きれ痔（さけ痔）・いぼ痔の痛み・かゆみ・はれ・出血の緩和

〔用法・用量〕

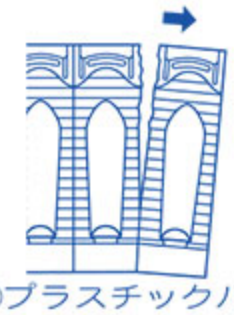
下記の1回使用量を肛門内に挿入します。

年　　齢	1回使用量	1日使用回数
成人（15歳以上）	1個	1～2回
15歳未満	使用しないでください	

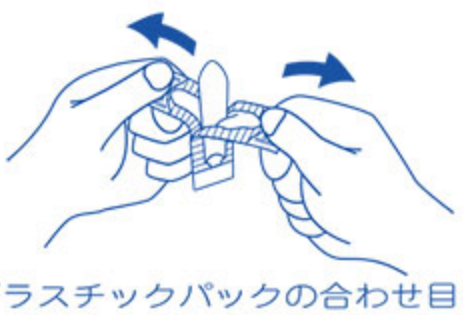
★裏面につづく

〈用法·用量に関連する注意〉
(1) 定められた用法·用量を厳守してください。
(2) 小児には使用させないでください。
(3) 本剤が軟らかい場合には、しばらく冷やした後に使用してください。
また、硬すぎる場合には、軟らかくなった後に使用してください。
(4) 肛門にのみ使用してください。
(5) **坐薬の取り出し方**
下図のようにプラスチックパックを引きはがして取り出してください。
(6) **坐薬の使い方**
坐薬の表面を手の体温で少し溶かし、**太い方**から肛門に挿入してください。

坐薬の取り出し方



①プラスチックパックの切口から1個を切り離してください。



②プラスチックパックの合わせ目を左右にゆっくりはがして開き、坐薬を取り出します。

坐薬の使い方



坐薬の底を持ち、先の方から坐薬が全部肛門内に入るまで、指で十分に押し込んでください。

〔成分·分量と働き〕1個(1.75g)中

成　　分	分　量	働　　き
プレドニゾロン酢酸エステル	1mg	患部のはれや出血をしずめます。
ジフェンヒドラミン	10mg	鎮痒作用があり、痔疾患に伴うかゆみを抑えます。
アラントイン	10mg	傷の治りをたすけ、組織を修復します。
トコフェロール酢酸エステル	50mg	肛門周囲の末梢血行をよくして、うっ血(血がとどこおること)を改善します。
塩酸リドカイン	60mg	局所麻酔作用があり、患部の痛み·かゆみを緩和します。

添加物として、無水ケイ酸、メタケイ酸アルミン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロース、スクワラン、アクリル酸デンプン、ハードファットを含有します。

◉保管及び取扱い上の注意

(1) 小児の手の届かない所に保管してください。
(2) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
(3) 坐薬は体温で融けやすいように製造されていますので直射日光や高温の所をさけて、30℃以下(≦30℃)のなるべく湿気の少ない所に保管してください。
(4) 外箱は↑↑マークに従って垂直に立て、坐薬の先端(太い方)が下向きになるように保管してください。
万一高温で坐薬が融けたり、軟化しても坐薬の変形を防ぐことができます。
(5) 使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。



◉早くよくなっていただくためのアドバイス

①排便後はぬれたガーゼで拭く、こまめに入浴をするなど、患部を常に清潔に保つように心がけましょう。
②食事に注意し、便秘や下痢にならないように心がけましょう。
③座る、かがむなど患部にうっ血を起こしやすい姿勢を長く続けないようにしましょう。
④お酒や香辛料の入った食べ物は症状を悪化させることがありますので、なるべく控えましょう。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話　0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、
お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社　お客様相談窓口
電話 03-5412-7393
受付時間　9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号